

## －校長あいさつ－

本校は、宮崎師範学校の附属中学校として、昭和22年に創設され、本年度71年目を迎える歴史と伝統のある学校です。この間、12,177名の方々が、この学舎を卒業され、県内はもとより国内外の各界、各方面で活躍されています。

平成30年度は、新しく164名の1年生を迎え、15学級（特別支援学級3学級を含む）、488名の生徒たちとともに、スタートいたしました。

以下は本校の設置された目的、校名の変遷です。

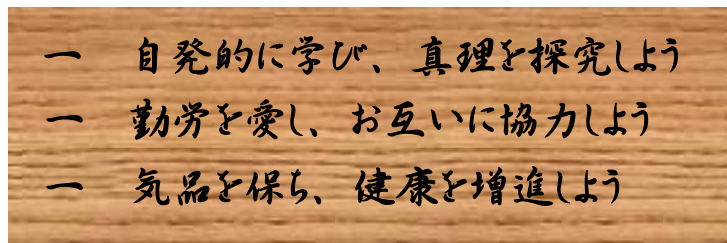
### 本校が設置された目的

- (1) 教育理論及び教育の実際に関する研究並びにその実証を行う。
- (2) 教育学部の計画に従い学生の教育実習の実施及びその指導にあたる。
- (3) 宮崎県における教育の振興に寄与する。

### 校名の変遷

昭和24年	宮崎大学宮崎師範学校附属中学校
昭和26年	宮崎大学学藝学部附属中学校
昭和41年	宮崎大学教育学部附属中学校
平成11年	宮崎大学教育文化学部附属中学校
平成28年	宮崎大学教育学部附属中学校

さて、本校には、「我等の目標」という3つの目標があります。



本校に集う生徒たちは、中学校生活を通してこの「我等の目標」を大切にはぐくんでいきます。その「我等の目標」実現のために、本校では、様々な特色ある教育活動を展開しております。

例えば、

- 毎日の朝の会や帰りの会で、どの学級からもさわやかな歌声が響きます。
- 全校生徒が一つになる体育大会や橘祭を開催しています。特に橘祭は、メディキットホールで、合唱コンクールや吹奏楽部、合唱部、英語弁論等の発表を行います。
- 総合的な学習の時間では、「宮崎のために、どう生きるか」をテーマとした探求活動を行い、中学3年で、すべての生徒が発表を行います。
- 特別支援学級では、校外活動、園芸や陶芸活動（販売を含む）、就労体験、趣味を生かした活動などを行います。
- 生徒指導の取組として、絵本「小学生のボクは、鬼のようなお母さんにナスビを売られました（著作：原田 剛、筒井則行 出版社：ワイヤーオレンジ）」を基に、行事や生徒会活動等で学び得たものを「ナスビの売り方」として振り返ります。
- 人権教育の一環として、生徒、保護者、教師、カウンセラーでPTCC 討論会を実施しています。
- ファミリー活動として、体育大会、橘祭、PTCC 討論会、清掃活動を、学年を超えた縦割りで活動しています。

「我等の目標」と本校の設置目的の達成のために、教職員がチームとなり、生徒の教育活動の充実、保護者や地域の方々に信頼される学校づくりに邁進していく所存でございます。今後とも、御理解・御支援をよろしくお願いいたします。

※ 本年度も昨年度に続き公開研究会（通常学級：6月28日・29日、特別支援学級：11月30日）を予定しております。

平成30年4月

宮崎大学教育学部附属中学校 校長 山下 辰弥